



- ①よさを伸ばし合う子ども
- ②つながりを大切にする子ども
- ③自らとふるさとを拓く子ども



たくさんの思い出ができました!! 修学旅行(9/26・27)

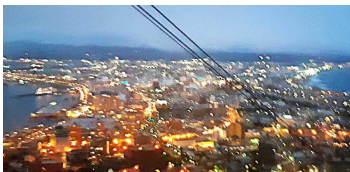
6年生は修学旅行で函館に行ってきました。天候にも恵まれ、グループ別研修も自分たちで立てた計画通りに進めることができました。

ルールやマナーもしっかりと守り、充実した2日間となりました。この学びをこれからの生活に生かしてほしいと思います。

【1日目】グループ別研修（赤レンガ倉庫、元町散策など） → 函館山（夜景）



【2日目】青函連絡船記念館摩周丸 → グループ別研修（函館駅周辺）



あなたの横断方法、本当に安全ですか？

～歩行環境シミュレータを活用した交通安全教室～



9月24日(火)、1年生を対象に交通安全教室を行いました。体育館に歩行環境シミュレータ「わたりジョーズ君」を準備し、横断歩道の安全な渡り方について学びました。

この装置は、三面スクリーンにCGの模擬道路を再現し、実際に横断しているような感覚で道路横断中の危険性を体験できるものです。

一人一人体験した子どもたちは、これまで以上に安全確認の大切さを自覚し、正しい交通安全行動を理解することができました。

10月の主な行事



- 1日(火) ヘルパビ週間(運動～7日)
- 1・2年ぶなっこランド探検
- 3日(木) グラウンド草取り作業
- 4日(金) 児童集会 A I U交流(5・6年)
- 通知表配付(前期)
- 8日(火) 秋季マラソン大会・なべっこ会
- 9日(水) サツマイモ掘り

- 9日(水) あいさつ運動(町保護司)
- 10日(木) マラソン大会・サツマイモ掘り予備日
- 11日(金) 2年生生活科校外学習
- 14日(月) スポーツの日
- 八峰町シーサイドロードレース大会
- 16日(水) 活動委員会
- 18日(金) やまびこ集会
- 22日(火) かもめ読み聞かせ
- 24日(木) 3年社会科見学(いとく能代北店)
- 30日(水) 学習発表会予行練習

かもめ読み聞かせ

9月24日(火)、「おはなしの会かもめ」の読み聞かせがありました。

2年生は、石崎タツ子さんによる「スカンク
クーのおなら」の読み聞かせでした。

スカンクのクーはこわがりやのため、すぐにおならしをしてしまい、なかなか友達ができません。そんなクーがサルのもんきちと出会い、友達になるお話です。



動物の生態が
おもしろく描
かれた、勉強
になる紙芝居
でした。



今週の一枚

でも小学校に入学
生や園に里帰り
自分たちが育
レゼントした
り、歌を歌った
り、ゲームをし
たりして、楽し
みました。
懐かしい思い
に、浸りなが
も、ちよっぴ
お兄さんとお
さんとなつた
を見せること
でき、大満足の
1年生でした。



生の英語にふれました
～A I U 交流会～



9月27日(金)、3年生と4年生が国際教養大学(AIU)の留学生と交流会を行いました。

始めに、4名の留学生（エストニア・オーストラリア・ペルー・イギリス）とお互いに自己紹介をしました。名刺交換やゲームを通して生の英語にふれ、次第に積極的に交流する姿が見られました。

給食と読書タイムには、1年生と2年生も交流を行い、楽しい一時を過ごしました。

10月4日（金）にも、5・6年生が交流を行う予定です。



授業研究会(1年・算数)がありました

9月20日（金）、算数の校内授業研究会がありました。

1 年学級担任の高木礼子先生と貝森智美先生の T T (ティーム・ティーチング) 授業です。

3つの数の加減混合計算の学習でしたが、子どもたちは、友達の発表に付け足したり、他の考えを述べたりして、意欲的に授業に臨んでいました。



ペアで自分の考えを伝え合っています

つぶやき

「食」を広げる

「校長先生、今日も給食を全部食べました。」

給食後、校長室に食後の報告をしに来る3年男児2名。ソファーに座って報告

した後は、少し談笑して次の活動に向かいます
ここ2週間ほどの日課です。

好き嫌いなく食べることは、心身の健康な成長のために大切なことです。当然のことながら、給食の場や学級活動等でも指導するわけですがそれによって簡単にその子の食が広がるわけではありません。場合によっては、それがプレッシャーになることもあります。大変難しい問題です。

嫌いなものを好きに変えるためには、「ポジティブな食体験」をすることが大切なのだそうです。

内閣府の食育ガイドには「乳幼児期に大切にしたいのは『食べる意欲の基礎をつくり、食の体験を広げる』こと」と明記されており、実際の保育施設では、絵本や歌、手遊びに「食」を取り入れることで、様々な食材を身近に感じさせる取組をしているといえます。

また 人の脳には「焦点を当てたところが拡大していく」という性質があるため、苦手な食材を少しでも口にしたとき、声に出して肯定的に評価してあげることが、食の広がりにつながっていくようです。

子どもができたことに対して、大人が見つけ上手になることにより、子どものできることは広がっていきます。このことは「食」に限らず、あてはまるといえそうです。

(参考・引用 月刊給食指導研修資料)

